

研究主題

小学校における

「考え、議論する」道徳科授業の在り方に関する研究

－親切、思いやりを体系的に育む問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた指導方法の工夫－

【研究担当者】 佐藤 朋広

【この研究に対する問い合わせ先】

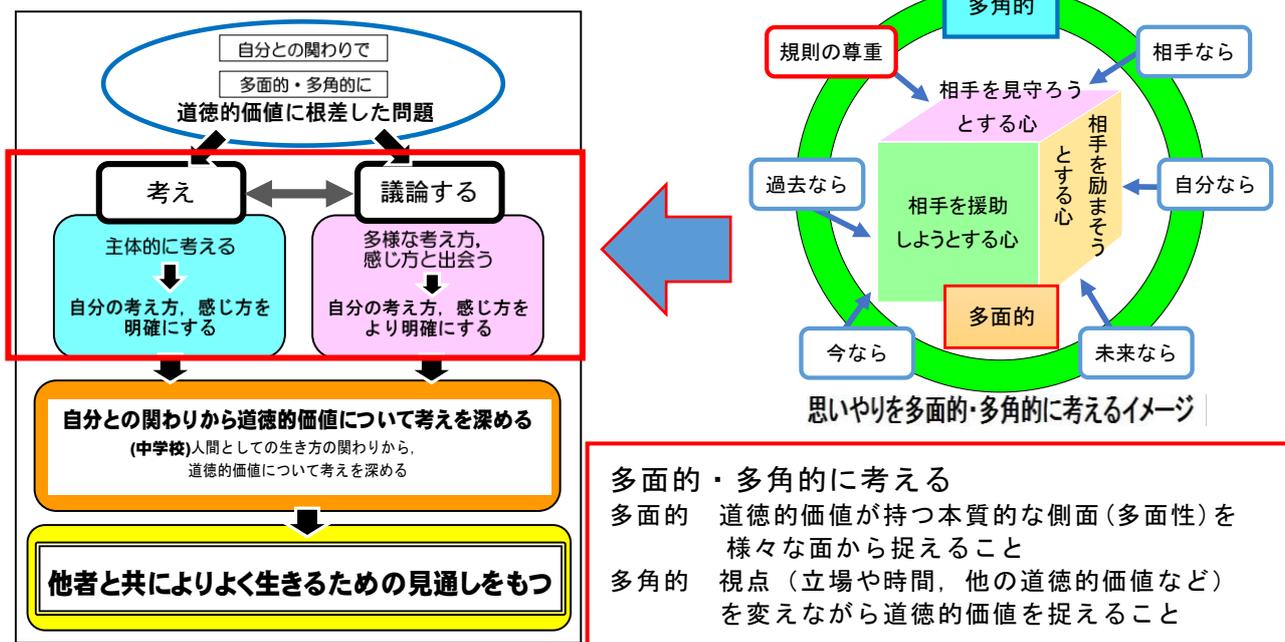
TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

I 研究の概要

「考え、議論する」道徳科授業とは、一人一人の児童が、道徳的価値に根差した問題について、自分がどのように感じたり考えたりするのかを「考え」、他者と「議論する」ことで、多様な感じ方や考え方に会い、自分との関わりから道徳的価値への考えを深め、よりよく生きるための見通しをもつことができる授業と捉えます。特に、道徳的価値を多面的・多角的に「考え、議論する」ことが重要と考えます。

本研究では、「考え、議論する」道徳科授業の実践のため、問題解決的な学習と道徳行為に関する体験的な学習の学習指導過程と親切、思いやりの道徳的価値の体系的な指導方法と手立てを提案します。



「考え、議論する」道徳科授業構想図

II 「考え、議論する」道徳科授業を具現化するための手立て

「考え、議論する」道徳科授業を具現化するため、道徳科の目標に示された「自己を見つめる」「多面的・多角的に考える」「自己の生き方を考える」3つの学習活動を学習指導過程に位置付けることが重要と考えます。また、道徳的価値の体系的な指導方法の工夫として、道徳的価値を自分のこととして考えたり感じたりする「気付く」、他者の感じ方や考え方から価値理解、人間理解、他者理解を深める「分かる」、道徳的価値を実現していこうとする思いや願いを深める「生かす」という3つの観点を関わらせながら、道徳的価値を発達段階や児童の実態に応じて捉えていくことが必要と考えます。

(1) 問題解決的な学習と道徳的行為に関する体験的な学習の学習指導過程と発問例、活用例

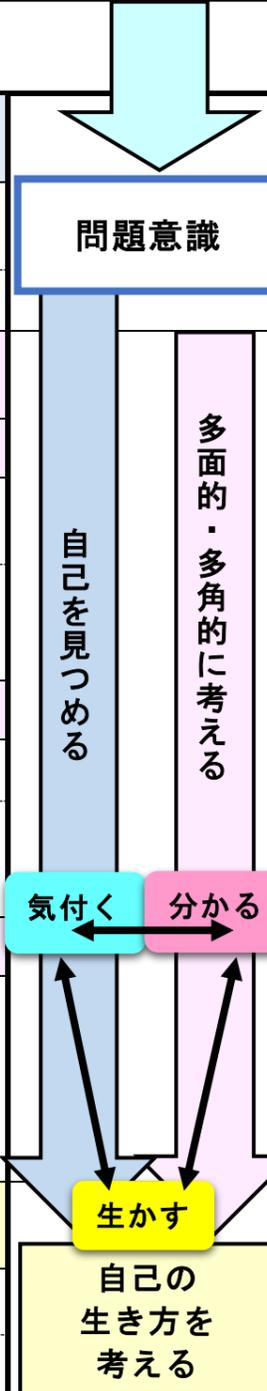
学習指導過程に示されている白丸の数字は、問題解決的な学習に関する学習活動を表し、①、②、③、⑬、⑭は、道徳的行為に関する体験的な学習と共通する学習活動です。黒丸の数字は、道徳的行為に関する体験的な学習に関する学習活動です。授業実践では、児童の実態やねらいに合わせて指導方法を選び、例えば、導入②、展開⑥、⑦、⑩、終末⑬のように学習指導過程を選択していきます。また、道徳的行為に関する体験的な活動(☆)は、指導のねらいと児童の実態に応じて必要な学習場面に取り入れていきます。

| 問題解決的な学習の特長 | 道徳的価値に根差した問題 | 道徳的行為に関する体験的な学習の特長 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 児童が生きる上で出会う様々な道徳的諸価値に関わる問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことができる。 問題場面について児童自身の考えの根拠を問う発問や、問題場面を実際の自分に当てはめて考えてみることを促す発問、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる発問などによって、道徳的価値を実現するための資質・能力を養うことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ア 道徳的諸価値が実現されていないことに起因する問題 イ 道徳的諸価値について理解が不十分又は誤解していることから生じる問題 ウ 道徳的諸価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうでない自分との葛藤から生じる問題 エ 複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題 | <ul style="list-style-type: none"> 役割演技などの体験的な学習を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することを通して、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことができる。 問題場面を実際に体験してみること、また、それに対して自分ならどう行動をとるかという問題解決のための役割演技を通して、道徳的価値を実現するための資質・能力を養うことができる。 |

問題解決的な学習の学習指導過程と発問例

道徳的行為に関する体験的な学習の学習指導過程と発問例、活用例

| 問題解決的な学習の学習指導過程と発問例 | | | 道徳的行為に関する体験的な学習の学習指導過程と発問例、活用例 | | | |
|---|--|---|---|---|---|---|
| 導入 | 1 道徳的価値に根差した問題や道徳的価値について問題意識をもち自己を見つめる場面 主題に対する児童の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けを図る。 | | | 1 道徳的価値に根差した問題や道徳的価値について問題意識をもち自己を見つめる場面 主題に対する児童の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けを図る。 | | |
| | ①教材や日常生活などから道徳的価値に根差した問題を意識する。 例:どこに問題がありますか。 | ②道徳的価値の本当の意味や意義を考える。 例:親切とは、何ですか。 | ③個人的な経験や具体的な事例から、道徳的価値を考える。 例:親切にしてもらってよかったことはありますか。 | ①教材や日常生活などから道徳的価値に根差した問題を意識する。 例:どこに問題がありますか。 | ②道徳的価値の本当の意味や意義を考える。 例:親切とは、何ですか。 | ③個人的な経験や具体的な事例から、道徳的価値を考える。 例:親切にしてもらってよかったことはありますか。 |
| 展開 | 2 道徳的価値に根差した問題や道徳的価値について多面的・多角的に考える場面 道徳的価値に対する児童一人一人の考え方や感じ方を生かしたり、物事を多面的・多角的に考えたり、児童が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたりする。 ・教材などを基に、道徳的価値に根差した問題や道徳的価値について考える。 | | | 2 道徳的価値に根差した問題や道徳的価値について多面的・多角的に考える場面 役割演技などで児童一人一人が考えたり感じたりした内容から、物事を多面的・多角的に考えたりすることで、自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたりする。 ・道徳的行為に関する体験的な活動などを通して、道徳的価値に根差した問題や道徳的価値について考える。 | | |
| | ④道徳的価値に根差した問題の状況を分析する。 例:登場人物は、どうして迷っていますか。 | ⑤登場人物などの考え方や行為から、道徳的価値を考える。 例:登場人物は、どのようなことを思いながら、親切にしたのでしょうか。 | ⑥登場人物などの考え方や行為に対して、考えをもつ。 例:登場人物の考えている親切に対して、どのように思いますか。 | ④道徳的価値に根差した問題場面を把握し考察する。 ☆動作化などで、問題場面の再現など。 例:登場人物は、どうして～したと思いますか。 | ⑤登場人物の行動の意味や心情を考える。 ☆役割演技などで、行動や心情の再現など。 例:登場人物は、どんな気持ちだったと思いますか。 | ⑥問題場面を実際に体験する。 ☆役割演技などで、問題場面を実際に体験するなど。 例:問題場面を体験して、どんなことを思いましたか。 |
| | ・教材などを基に、道徳的価値に根差した問題の解決方法を考えたり、道徳的価値について考えたりする。 | | | ・道徳的行為に関する体験的な活動などを通して、道徳的価値を理解する。 | | |
| | ⑦登場人物のために解決策を考え、検討する。 例:登場人物は、どうすればいいのですか。 | ⑧道徳的価値について考える。 例:見守ることも親切だと思いますか。 | ⑨自分だったらどうするかを考える。 例:自分だったら、どうしますか。 | ⑦登場人物の行動や心情などを考える。 ☆役割演技などで、登場人物の心情の再現などを行う。 例:登場人物は、どんな気持ちになったと思いますか。 | ⑧登場人物の考えや葛藤などを理解する。 ☆役割演技などで、登場人物の葛藤の再現など。 例:登場人物は、何を迷っているのですか。 | ⑨解決策を考え、検討する。 ☆役割演技などで、問題解決の解決策を実際に行うなど。 例:問題を解決するには、どうすればいいのですか。 |
| ・教材や議論したことなどを基に、道徳的価値についての理解を深めたり、考えた解決策を身近な問題に適用したりする。 | | | ・道徳的行為に関する体験的な活動などを通して分かったことから、道徳的価値についての理解を深める。 | | | |
| ⑩解決策から、道徳的価値を考える。 例:登場人物は、どうして〇〇を選んだと思いますか。 | ⑪道徳的価値について、さらに深める。 例:本当の親切とは何だと思いますか。 | ⑫導入で扱った事例や新たな事例などを提示し、問題を解決するシミュレーションを行う。 | ⑩体験して考えたり、感じたりしたことから、道徳的価値について考える。 ☆動作化などで、道徳的行為をするなど。 例:親切にするためには、何が大切だと思いますか。 | ⑪道徳的価値の意味や実現するために大切なことを考える。 ☆役割演技などで、道徳的行為をするなど。 例:本当の親切とは何だと思いますか。 | ⑫解決策に共通する道徳的価値を考える。 ☆役割演技などで、共通する道徳的価値に気付くなど。 例:共通することは何ですか。 | |
| 3 自己の生き方を考える場面 学習を通して考えたことや新たに分かったことを自己を見つめながら確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりする。 | | | 3 自己の生き方を考える場面 学習を通して考えたことや新たに分かったことを自己を見つめながら確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりする。 | | | |
| ⑬学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。 例:学習を通して考えたことや新たに分かったことは何ですか。 | ⑭学習を振り返り、これからの自己の目標や課題を考える。 例:学習したことで、これから生かしていきたいことはありますか。 | | ⑬学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。 例:学習を通して考えたことや新たに分かったことは何ですか。 | | ⑭学習を振り返り、これからの自己の目標や課題を考える。 例:学習したことで、これから生かしていきたいことはありますか。 | |



(2) 親切, 思いやりの道徳的価値の体系的な指導方法と手立て

指導内容を相手の立場に立って考えていく「気付く」、親切・思いやりの大切さ, よさを深めていく「分かる」、思いやりを行為に表そうとし, 親切にする人を広げていく「生かす」の観点から具体化しました。授業においては, 児童の発達段階とねらいに合わせてより具体化し, 前述の学習指導過程に基づき, 授業を展開していきます。また, 発達段階に応じて効果的と考えられる指導方法の割合をその工夫として表しました。

| 発達段階 | 内容項目の概要 | 親切, 思いやりの道徳的価値を育む手立て | | | 指導方法の工夫 | |
|-------|---|--|--|--|--|-----------------------------|
| | | 3つの観点による指導のねらい | | | | |
| | | 気付く | 分かる | 生かす | | |
| 5・6年生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を客観的に捉える。 ・ 相手の置かれている状況や自分自身に置き換えて想像できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰に対しても思いやりをもち, 相手の立場に立つこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身に置き換えながら, 相手の気持ちや立場に気付く。 ・ 相手のためになる親切な行為に気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間関係などを乗り越えて相手の立場に立って考え, 誰にでも親切にすることのよさや大切さが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 接する全ての人に親切にしようとする。 | 問題解決的な学習 道徳的行為に関する体験的な学習 |
| 3・4年生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちをより深く理解する。 ・ 他の方も, 自分たちの考え方や感じ方と同じだと, 思い込みがちになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちや立場に気付く。 ・ 取るべき親切な行為に気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちや立場を考えた, 進んで親切にすることをしようとするよさや大切さが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な人に進んで親切にしようとする。 | |
| 1・2年生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分中心の考え方に慣れている。 ・ 人との関わりから, 相手の考えや気持ちに気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことに気付く。 ・ 取るべき親切な行為に気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 温かい心で接することのよさや大切さが分かる。 ・ 具体的な親切な行為が分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人に親切にしようとする。 | |

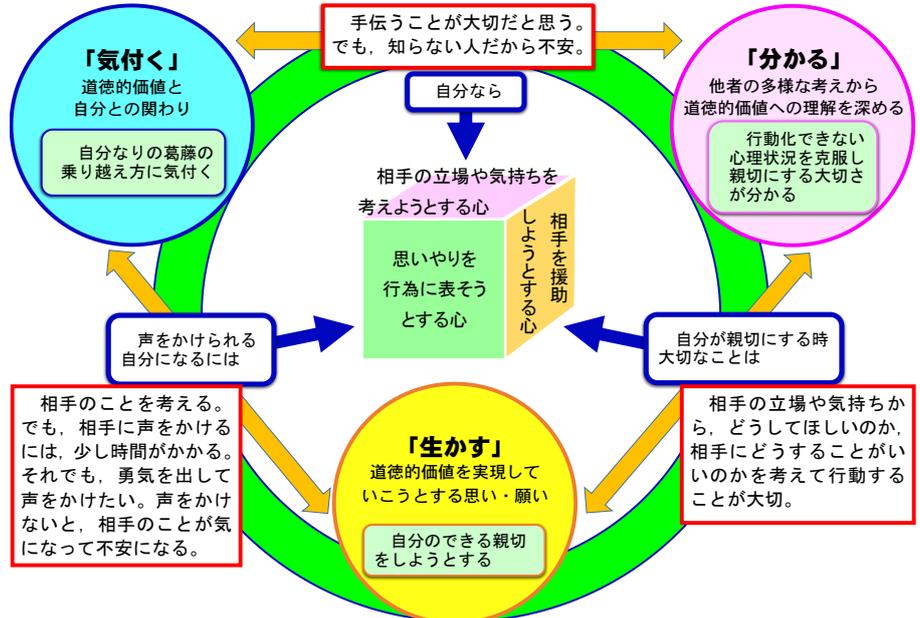
親切, 思いやりの道徳的価値の体系的な指導方法と手立て

III 授業実践例 4年生

主題名 相手の本当の気持ちは「親切, 思いやり」
 教材名 心の信号機 (出典 学研「みんなのどうとく4年」)
 ねらい ぼくが葛藤を乗り越えて目の不自由な人に親切にした姿を通して, 相手の立場を考え, 行動化できない心理状況を克服し進んで親切にしようとする道徳的判断力を養う。
 学習指導過程 問題解決的な学習 導入①, 展開④, ⑤, ⑨, 終末⑭

学習活動⑨では, 不安を乗り越えて親切にしようと思う自分のきっかけ(親切スイッチ)を考え, 議論させました。下図は, A児の考えを図式化したものです。「気付く」「分かる」を関わ

らせて自己理解を深めさせるとともに, 「分かる」「生かす」を関わらせて議論させることで, A児は, 相手の立場に立った行動の大切さへの理解を深めていきました。また, 学習活動⑭では, 「生かす」「気付く」「分かる」を関わらせて学習を振り返りました。A児は, 親切にしようと思う自分のきっかけを考え, 議論したことで, 「相手の気持ちを考える」「相手のためになることを考える」などの他者の視点を取り入れて, 相手の立場や気持ちを考える大切さ, 思いやりを行為に表す大切さへの理解を深めていったと考えます。



「気付く」「分かる」「生かす」を関わらせた児童の考えの深まり

A児の振り返りの記述
 相手の気持ちを考え, 自分が「どうすることがいいのか。」を考えて行動することが大切だと思いました。相手が「どうしてほしいのか。」を考えないと, 自分の気持ちや行動とつながらないからです。困っている人がいたら, 相手のこと, 自分のことを考えて行動したいです。